

秋はケミストリーについて深く考える季節です…

第4回 桜花城北セミナー開催

窓の外は学園祭で盛り上がっている中、10月27日(土)午後、大宮キャンパス10号館セミナー室で、研究最先端でご活躍の4名の先生をお招きして、応用化学科・学科同窓会「桜花会」・大阪工業大学地域産業支援プラットフォーム(OIT-P)共催「第4回 桜花城北セミナー」が開催されました。会場となった10号館8Fセミナー室には、学科教職員・学生だけでなく、卒業生である桜花会会員の方、他学科の学生も参集され、活気あふれる会となりました。

ご登壇いただいた先生からは、学園祭の熱気を上回る“研究に対する熱い思い”を短い時間の中、非常にわかりやすくお話いただきました。まず、**早川 晃鏡 先生**(東京工業大学 物質理工学院材料系教授)が「**ブロック共重合体が織りなすナノ材料**」についてお話になられ、最先端のブロック共重合体を鋳型とした半導体加工技術の現状と、微細加工技術の向かう方向を明確に示されました。続いて、**小林 玄器 先生**(分子科学研究所 物質分子科学研究領域分子機能研究部門准教授)から「**ヒドリドイオン導電性材料の開発と将来展望**」という題目で、ヒドリドイオンを用いた電解質の開発に至るまでの道筋、さらにその応用展開までをご紹介いただきました。さらにご登壇が続き、**豊開 真之 先生**(帝人株式会社 融合技術研究所)には「**含窒素高分子から作成される燃料電池カソード用炭素触媒の開発**」という題目で、白金に代替するカーボン触媒開発の重要性、さらに目標値を企業側の視点からわかりやすくご説明いただきました。最後に、**堀場 達雄 先生**(東京理科大学 研究推進機構総合研究院教授)より「**企業における電池の研究開発**」と題するテーマで、自動車、電車などの動力機関のどの部位に、どのような電池が導入されているかをお話になられました。

それぞれの先生に共通しているのは、「**フィロソフィー(哲学)**」を持って研究活動を推進し、その技術で世界を牽引しておられるところで、**人類の叡智に貢献するためには斬新な想像とアイデアを形にする行動力が必要であることを痛感しました。**

次回の桜花城北セミナーも乞うご期待!



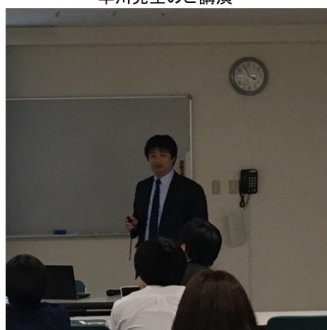
早川先生のご講演



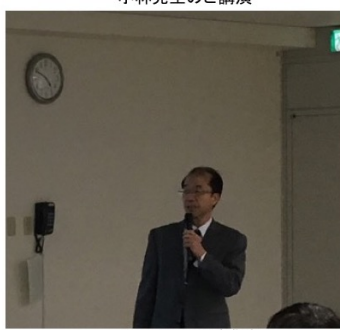
小林先生のご講演



聴講学生の様子 大宮キャンパス10号館8階 セミナー室



豊開先生のご講演



堀場先生のご講演

13:10~14:00

早川 晃鏡 教授

「ブロック共重合体が織りなすナノ構造材料」

14:00~14:50

小林 玄器 准教授

「ヒドリドイオン導電性材料の開発と将来展望」

15:10~16:00

豊開 真之 先生

「含窒素高分子から作製される燃料電池カソード用炭素触媒の開発」

16:00~16:50

堀場 達雄 教授

「企業における電池の研究開発」